

■研究推進委員会 2023 年度 活動報告書

提出日：2024 年 3 月 1 日

名 称	生態工学 研究推進委員会
委員長	氏名（所属）：大澤啓志（日本大学）
幹 事	氏名（所属）：徳江義宏（日本工営（株）） 連絡先（e-mail アドレス）：tokue-ys@n-koei.jp
その他 構成員	氏名（所属）： 板垣範彦（いきものランドスケープ）、井上剛（(株) エスアイエイ環境事務所）、裏戸秀幸（横浜市）、大澤啓志（日本大学）、勝野武彦（日本大学 名誉教授）、亀山章（東京農工大学 名誉教授）、倉本宣（明治大学）、黒田貴綱（日本大学）、園田陽一（国際産業技術専門学校）、趙賢一（(株) 愛植物設計事務所）、中村忠昌（東京いきものラボ）、春田章博（春田環境計画事務所）、日置佳之（鳥取大学 名誉教授）、宮本渉、森本幸裕（京都大学 名誉教授）、養父志乃夫（和歌山大学）、八色宏昌（景域計画（株））、渡邊敬太（大成建設（株））
今年度 活動報告 成果	<p>1. 「生きもの技術ノート」および「用語解説」の企画編集 月に1回の研究推進委員会を開催し、学会誌に連載中の「生きもの技術ノート」（年4回）および「用語解説」の企画立案、編集作業を実施し、学会誌に「生きもの技術ノート」を年4回連載した。テーマは「MVC法による地表面に散布された種子の捕捉」、「日射量の簡便な地図化手法」、「多様なステークホルダーと連携したエコロジカルネットワーク調査について」、「小型衛星を活用した森林変化のモニタリング」である。同時に用語解説として「DNA バーコーディング」、「アドベンチャーツーリズム（Adventure Tourism）」、「TNFD フレームワークにおける LEAP アプローチ」、「条件付特定外来生物」を掲載した。</p> <p>2. 2023 年度全国大会ミニフォーラムの開催 2023 年度日本造園学会全国大会において 2023 年度全国大会ミニフォーラム「地域性種苗の多面的価値」を開催した。</p> <p>3. 2024 年度全国大会ミニフォーラムの企画立案 2023 年度に引き続き、2024 年度日本造園学会全国大会ミニフォーラムの開催を目指し、テーマ「自然共生サイトと造園の関わり」を企画し応募した。</p> <p>4. 生物多様性技術指針 生物多様性技術指針の出版に向けて企画内容を検討した。出版社を決定した。</p>